

平成27年度 燕市・西蒲原郡道徳部 活動報告

部長 鱒 博文

1 研究主題

道徳的実践力を育てる指導法の工夫

2 研究の概要

外部講師を招いて指導を受けるとともに、研究主題を受けた授業公開・検討を行った。



3 研究の実際

(1) 第1回部会

- ① 期日：6月3日（水） 燕市立吉田北小学校
- ② 内容：講義と演習 講師 県立教育センター指導主事 長谷川 晋 様

○ 講義

学習指導要領で改正された点が、現行と比較してどう違うかを分かりやすく説明していただいた。また、道徳性と道徳的実践力の意味と相互の関係を図をもとに詳しく教えていただいた。数多くの資料を用意していただき、道徳的実践力を育てる上での重要なポイントを押さえてご指導いただいた。

○ 演習

「ヒキガエルとロバ」という資料を使って、授業のねらいと中心発問を考え、教師相互で話し合う活動を行い、新しい考えに気付くことができた。話し合いでは、どこに焦点を当てて発問を考えるかが授業を構成する上で重要であることを学んだ。

(2) 第2回部会

- ① 期日：12月2日（水）燕市立小池小学校
- ② 内容：授業研究・協議会
題材名 掃除は自分たちです
授業者 小池小学校 池上貴之教諭



○ 授業の内容と協議

学校の掃除を子どもがする理由やよい点をグループで考えさせた。協議会では、学校の掃除を子どもがしない国がある事実を教えることが掃除の意義を考えるきっかけとして有効であったか、掃除をする理由をグループで考えることが道徳的な実践意欲や態度につながったかどうかについてが話題となった。また、終末の効果的な扱い方についても話し合われた。

4 成果と課題

道徳の授業では、道徳的価値のある題材で価値の葛藤を考えさせ、実践することが重要である。葛藤場面では実体験を取り入れたり、子どもの実態に合わせて段階を踏んで考えさせるとともに、一単位時間で押さえなければいけないところを明確にしなくてはならない。評価については、子どもの書いたものや発表したものの集積方法が今後の課題である。